

## 地球温暖化対策計画書

令和 5 年 7 月 28 日

香川県知事 殿

提出者

住所 香川県高松市香西南町455-1

氏名 アオイ電子株式会社

代表取締役社長

木下 和洋

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第1項の規定により、地球温暖化対策計画を作成したので、次のとおり提出します。

事業者の主たる業種	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に、電子部品の製造を行っており、県内に3事業場の生産拠点を有する。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	様式1のとおり
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	様式1のとおり
計画期間	令和5年度～令和7年度
計画の公表予定年月日	令和5年7月31日
計画の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：弊社ホームページ
連絡先	担当部署 管理本部 担当者 電話番号 087-882-1131 FAX番号 087-881-5575 電子メールアドレス

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

## 事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	本社・高松工場	高松市香西南町455-1	第一種
2	観音寺工場	観音寺市吉岡町262	第一種
3			
4			
5			
6			
② その他の事業所			
7	朝日町事業所	高松市朝日町3-5-14	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

## 温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		令和 5 年度 ~ 令和 7 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容				
	5	別紙2のとおり				
	6	別紙2のとおり				
	7	別紙2のとおり				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの吸収等	区 分		目標年度 (令和 7 年度) 二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等		t-CO <sub>2</sub>		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用		t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン電力証書の購入		t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン熱証書の購入		t-CO <sub>2</sub>		
	オフセット・クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>			
	国内クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>			
	J-クレジットの購入		t-CO <sub>2</sub>			
	合 計		①		t-CO <sub>2</sub>	
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準年度比 (%)	
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算 (t))② 37,565 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t))③ 40,000 t-CO <sub>2</sub>	106.5		
<input type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算 (t))② 37,565 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t))③-① 40,000 t-CO <sub>2</sub>	106.5		
<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B		t-CO <sub>2</sub> /百万個	t-CO <sub>2</sub> /百万個			
	温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B	百万個 (生産数量)	百万個 (生産数量)			
目標設定に関する説明	省エネ目標 (1%/年以上) を念頭に目標を設定しました。別紙2のエネルギー使用合理化計画及びその他の運用改善を実施し、目標達成を目指します。					
特記事項	上記の取組み以外に地球温暖化防止のため、以下の取組みを実施予定 ・太陽光発電をはじめ、自然エネルギー導入の調査活動を継続					

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」

の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」

- 「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量 (原単位排出量) を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。

- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。

【別表 2】

(令和 4 年度)

事業所名 アオイ電子株式会社 本社・高松工場

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL			
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL			
	ナフサ		kL			kL			
	灯油		kL			kL			
	軽油		kL			kL			
	A重油		kL			kL			
	B・C重油		kL			kL			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	高炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	転炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	都市ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	37162	千kWh		千kWh		37,162	17,986.4
		夜間買電	25720	千kWh		千kWh		25,720	12,448.5
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③									
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ④=①+②+③									
<b>30,434.9</b>									

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) : 四国電力株式会社 0.000484

【別表 2】

(令和 4 年度)

事業所名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
燃料	原油（コンデンセートを除く）		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL				
	揮発油（ガソリン）		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油		kL			kL				
	A重油		kL			kL				
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>			
	石炭	原料炭		t			t			
		一般炭		t			t			
		無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>				
高炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>					
転炉ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>					
都市ガス		十m <sup>3</sup>			十m <sup>3</sup>					
その他の燃料										
小計 ①										
熱	産業用蒸気		GJ			GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ				
	温水		GJ			GJ				
	冷水		GJ			GJ				
小計 ②										
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	7752 千kWh			千kWh		7,752	3,752.0	
		夜間買電	5073 千kWh			千kWh		5,073	2,455.3	
	その他	上記以外の買電		千kWh			千kWh			
		自家発電		千kWh			千kWh			
小計 ③										
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ④=①+②+③										
<b>6,207.3</b>										

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh)： 四国電力株式会社 0.000484

【別表2】

(令和4年度)

アオイ電子株式会社 朝日町事業所

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kL			kL			
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL			
	ナフサ		kL			kL			
	灯油		kL			kL			
	軽油		kL			kL			
	A重油		kL			kL			
	B・C重油		kL			kL			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	都市ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
電気	一般送配電事業者 が維持し、及び運用 する電線路を介して 供給された電気	昼間買電	1773	千kWh		千kWh	1,773	858.1	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③								858.1	
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ④=①+②+③								858.1	

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh)： 四国電力株式会社 0.000484

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数												
	ガソリン (kL)			軽油 (kL)			LPG (t)			都市ガス (CNG) (千m <sup>3</sup> )		その他	
	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	台数(台)		軽自動車除く	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		
本社・高松工場	11.263	12	12	0.141	1	1							
観音寺工場	0.138	1	1	8.938	2	2							
合計	11.40	13	13	9.08	3	3							

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	11.40	kL	394.47	34.6	GJ/Kl	26.47
軽油	9.08	kL	342.28	37.7	GJ/Kl	23.47
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス (CNG)		千m <sup>3</sup>		46.0	GJ/千m <sup>3</sup>	
合計						49.94

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ( )

集計表

区分	令和 4 年度 (t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2)	37,500
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	49
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	16
エネルギー起源二酸化炭素以外の二酸化炭素	0.189
ハイドロフルオロカーボン	16.295
六ふっ化硫黄	0.121
***	
***	
***	
***	
合計	37,565

## エネルギー使用合理化計画

番号	計画内容	計画年度			対象事業所			備考
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	本社・高松工場	観音寺工場	朝日町事業所	
1	空気調和設備の更新	○	○	○	○	○		3年計画
2	照明設備の更新	○	○	○	○	○		3年計画
3	空気圧縮機の更新	○	○	○	○	○		3年計画
4	真空作成法の変更	○	○	○	○			3年計画
5	配管圧損の改善による空気圧縮機の軸動力削減	○	○	○	○			3年計画
6	圧空の露点制御の見直し	○	○	○	○			3年計画
7	エアブローのブロー化	○	○	○	○			3年計画
8	装置排気の見直しによるヒーター負荷の低減	○	○	○	○			3年計画
9	生産設備用モニタの更新	○	○	○	○	○		3年計画
10	空気圧縮機の給気設備へ気化熱式装置設置による空気圧縮機の運転効率向上	○	○	○	○			3年計画
11	変圧器の更新	○	○	○		○		3年計画
12	防災排煙窓への遮熱塗料の塗布	○	○	○	○			3年計画
13	空気圧縮機の台数制御システムの更新	○	○	○	○			3年計画
14	変圧器の無負荷損の低減	○	○	○		○		3年計画

注、上表の記号○は計画の対象年度を表す。

ただし、長期計画の項目については、単年度または複数年度での実施については未定です。